

京都府の高校教育改革（概要）

1 京都府の高校教育改革の経過

① 高校教育制度改善に向けて	（昭和 53 年度～）
② 高校教育検討委員会からの答申等	（平成 3 年度～）
③ 府立高校改革推進計画の策定	（平成 14 年度～）
④ 京都府教育振興プランの策定	（平成 22 年度～）
⑤ 第 2 期京都府教育振興プランの策定 →「府立高校の在り方ビジョン(仮称)」の策定	（令和 3 年度～）

2 戦後の新制高等学校教育制度

昭和 22 年 2 月 「新学校制度実施準備の案内」（文部省）等

- ①必ずしも男女共学でなくてもよい。地域の教育的意見等を尊重して決定すべきである。
- ②学校数の少ない地方においては、総合的な学校が地方の必要性に適合すると思われる。
- ③公立高校の平準化、地域性を図るため都道府県教育委員会に学区制を定める権限を与える。



昭和 23 年 4 月 新制高等学校発足



昭和 23 年 8 月 【府】再編時の編成方針の大綱を決定

- ①男女共学制 ②総合制 ③通学区域制(小学区) など



昭和 23 年 10 月 【府】新制高等学校の再編成 [全日制：26 校]



昭和 24 年 7 月 「職業教育及び職業指導審議会」（文部省）

産業界等からの意見もあり、職業教育単独高校の必要性を決議

昭和 27 年 4 月 「産業教育振興法」施行



昭和 30 年 12 月 【府】「高等学校教育課程の改訂について」通達 [総合制継続]

3 高校教育制度改善に向けて（昭和 53 年度～）

(1) 検討の経過

昭和 53 年 8 月 「教育懇談会」発足

昭和 56 年 5 月 「高等学校教育懇談会」発足

昭和 58 年 1 月 同会「座長まとめ」を府教育委員会に提出

昭和 58 年 3 月 府教育委員会：「高等学校教育制度改善の基本」発表
 昭和 58 年 4 月 「高等学校教育制度検討委員会」設置
 昭和 58 年 12 月 同委員会「答申」



昭和 59 年 3 月 「京都府公立高等学校教育制度の改善について」（制度改善大綱）
 発表 →昭和 60 年度から新しい高校教育制度実施

(2) 改善の基本方針

- ・ 特色ある学校の創造
- ・ 教育課程編成の基準の弾力化
- ・ 学力の充実
- ・ 全日制普通科：類型の設定、通学圏の設定、入学者選抜の基本的な在り方
- ・ 職業に関する学科：専門的職業教育の充実、設置校の適正化、入学者選抜の基本的な在り方

(3) 改善の概要

ア 普通科における類・類型

類	内 容
Ⅰ類 (学力充実)	多様な生徒が選択するこの類型群においては均衡のとれた教科・科目の履修を基本とするとともに、生徒の幅広い適性や進路を考慮し、文系・理系・一般系等の類型を設置
Ⅱ類 (学力伸長)	各教科・科目の学習内容を拡充、高度化し、特に生徒の学力の伸長を図る教育課程で、類型として人文系・理数系・文理系などを設置
Ⅲ類 (個性伸長)	生徒の適性、興味、関心に応じて特定の教科・科目の履修に重点を置き、生徒の個性の伸長を図る教育課程で、類型として体育系・芸術系などを設置

イ 普通科における通学圏の設定

山城北通学圏	京都市北通学圏	口丹通学圏
山城南通学圏	京都市東通学圏	中丹通学圏
	京都市西通学圏	丹後通学圏
	京都市南通学圏	

ウ 職業教育の充実（全日制）

産業社会の進展に即応した魅力ある職業教育の推進

- ① 専門的な内容の一層の充実
- ② 近代的な施設設備の充実
- ③ 府立単独商業高校の新設
- ④ 職業に関する学科の配置の適正化

【参考】昭和 60 年度 府立高校の状況

普通科 単独校	18校	北稜	鳥羽	嵯峨野	北嵯峨	洛西	東稜	
		洛水	向陽	西乙訓	東宇治	西宇治	菟道	
		西城陽	八幡	久御山	綾部	東舞鶴	加悦谷	
普通科 職業 学科	25校	山城 (普 ^商)	鴨沂 (普・商)	洛北 (普 ^商)	朱雀 (普・商)	北桑田 (普・農・家)	桂 (普・農)	桃山 (普 ^商)
		洛東 (普 ^商)	乙訓 (普・商)	城南 (普 ^商)	城陽 (普・商)	南八幡 (普・商)	田辺 (普・工)	木津 (普・農・商)
		亀岡 (普 ^家)	南丹 (普・商)	園部 (普 ^商)	須知 (普・農・家)	福知山 (普・商)	大江 (普 ^農)	西舞鶴 (普・商・家)
		宮津 (普・工・商)	峰山 (普・工)	網野 (普・商)	久美浜 (普・農・家)			
職業学科 単独校	4校	農芸 (S58)	石原	水産	+	商業 (S60)		

※ □ はS60選抜までに募集停止

【参考】入学者選抜制度－総合選抜制度－

一般に、「一つの学区内の高校の全定員に当たる合格者をまず決定し、その合格者の各学校への配分については、学力や通学距離などを基準に決定する」入学方式

出典：『新教育学大辞典』第2巻（第一法規 1990年）

最多：15府県で実施



最後は京都府のみ（平成25年度選抜で廃止）

出典：『総合選抜制度解体の研究－高校入試制度の平等の崩壊－』（2002年九州地区高校教育研究会）

昭和17年度	京都市内の中学校等で居住地優先の総合考査制を導入
昭和19年度	府内全郡部に学区制を設け（5学区）、総合考査制または小学区制を実施
昭和23年度	新制高等学校発足：京都市・乙訓地域が10地域10校の通学区域制となり、昭和24年度選抜から総合選抜制度を導入
昭和49年度	山城地域（宇治・城陽）3校で総合選抜制度を導入
昭和55年度	口丹地域（亀岡市域）2校で総合選抜制度を導入
昭和58年度	山城地域の総合選抜制度を2地区10校に拡大
昭和60年度	高校教育制度改善：京都市4通学圏、山城2通学圏、口丹通学圏（亀岡市域）の普通科で総合選抜制度実施

4 高校教育検討委員会からの答申等（平成3年度～）

平成3年 4月 第14期中央教育審議会答申



平成3年 5月 「高校教育検討委員会」を設置し、「新しい時代に向けた府立高校における教育の展望について」を諮問

平成3年 11月 同委員会「中間答申」

平成4年 11月 同委員会「答申」



■新しいタイプの高校

平成 8 年度 京都こすもす科 (嵯峨野高校)

平成 10 年度 京都国際・福祉科 (園部高校)

■単位制高校 (普通科)

平成 10 年度 西宇治高校

■類・類型の充実

平成 7 年度～ 普通科第 I 類コース制、普通科第 II 類類型変更等

■定時制・通信制課程の充実

平成 7 年度 単位制の導入 (朱雀高校、桃山高校)

平成 6 年度～9 年度 定時制募集停止

(宮津・西舞鶴・山城・洛北高校)

平成 9 年 3 月 京都府産業教育審議会「中間提言」

平成 9 年 12 月 同審議会「提言」



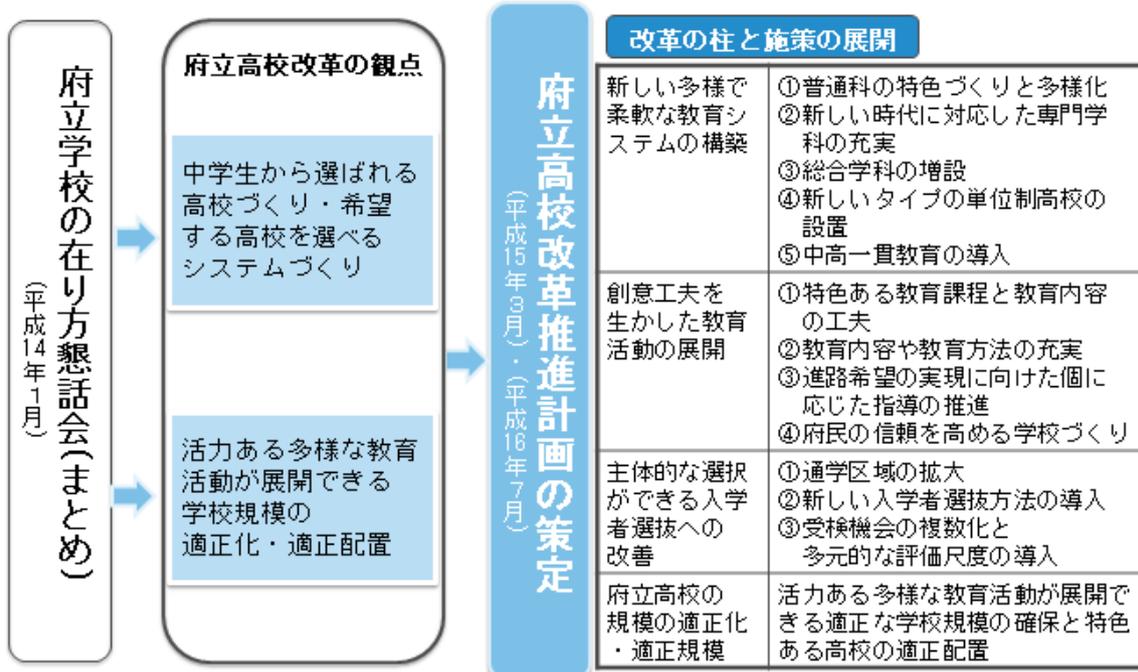
■学科構造の多元化

平成 10 年度 総合学科 (久美浜高校)

■職業教育の在り方

- ・教育内容・指導方法の充実
- ・資格取得の推進
- ・啓発活動の充実
- ・研修機会の充実
- ・普通科における職業教育の充実

5 府立高校改革推進計画の策定 (平成 14 年度～)



【実施概要】

第1次実施計画
(H16年度実施)

第2次実施計画
H18年度実施)

第3次実施計画
(H18・19・21年度実施)

第4次実施計画
(H19年度実施)

第5次実施計画
(H21年度実施)

新しい多様で柔軟な教育システムの構築

普通科の特色づくりと多様化	第1次	■普通科総合選択制の設置 [洛東高校]
	第2次	[大江高校]
	第3次	[八幡高校 (現 京都八幡高校) : 平成18年度]
総合学科の今後の展開	第1次	■南丹高校に設置
中高一貫教育の導入	第1次	■洛北高校附属中学校
	第2次	■園部高校附属中学校
新しい時代に対応する専門学科の充実	第2次	■専門学科の新設 [桃山・南陽・亀岡・西舞鶴高校] ■商業に関する学科の改編 [大江高校]
	第4次	■専門学科の新設 [山城・城南・福知山高校] [京都八幡高校南キャンパス] ■専門学科の改編 [園部高校] ■工業に関する学科の改編 [田辺高校]
	第5次	■商業に関する学科の改編 [京都すばる高校] ■工業に関する学科の改編 [峰山高校] ■福祉に関する学科の改編 [京都八幡高校]

主体的な選択ができる入学者選抜への改善

通学区域の拡大・弾力化と新しい入学者選抜方法	第1次	■山城北・南通学圏の統合 → 山城通学圏 ■山城通学圏：普通科第Ⅰ類単独選抜化、受検機会複数化、普通科第Ⅰ類・Ⅱ類一括募集
	第2次	■口丹・中丹・丹後通学圏：特色選抜の導入 通学区域の弾力化 ■長期欠席者特別入学者選抜の導入 [朱雀・城陽・西舞鶴高校]
	第5次	■京都市北・東・南・西通学圏の再編→京都市北・南通学圏 ■京都市北・南通学圏：普通科第Ⅰ類特色選抜導入、通学圏を超えたシステム、普通科第Ⅱ類単独選抜

府立高校の規模の適正化・適正規模

適正な規模の確保と特色ある高校の適正配置	第3次	■城南菱創高校の設置 [平成21年度] (城南高校・西宇治高校の再編) ■京都八幡高校の設置 [平成19年度] (八幡高校・南八幡高校の再編)
----------------------	-----	--

6 京都府教育振興プランの策定 (平成22年度～)

(平成23年1月策定、平成28年4月改訂)

(1) 教育制度 (類・類型制度)・入学者選抜制度の見直し (平成23・24年度)

山城通学圏 : 平成23年度

口丹・中丹・丹後通学圏 : 平成24年度

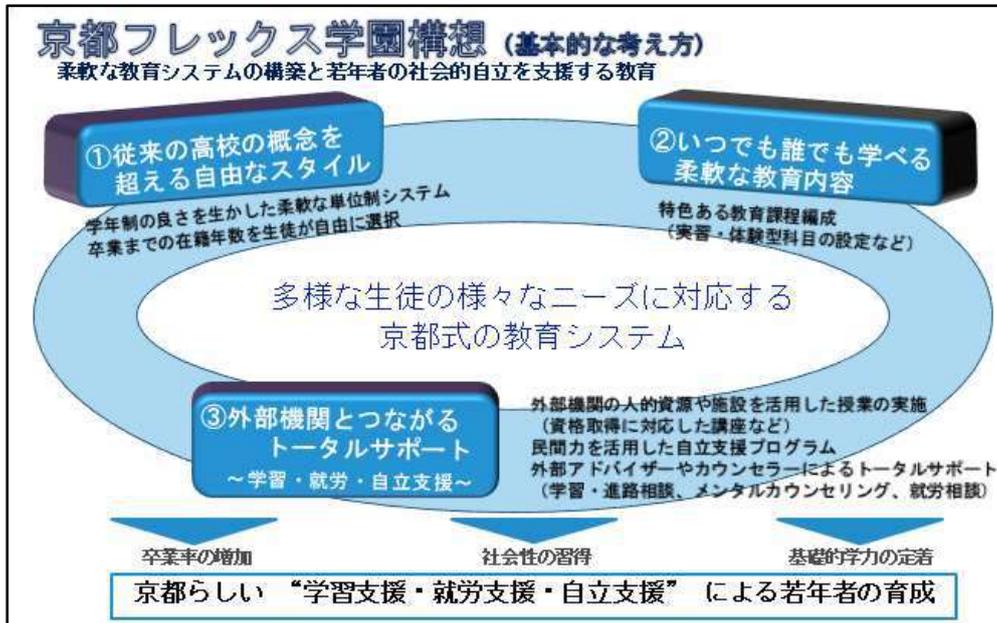
(2) 定時制・通信制教育の在り方の検討（平成 23 年度）

「府立高校定時制・通信制教育の在り方懇談会」まとめ（平成 23 年12月）

京都フレックス学園構想

清明高校の開校（平成 27 年 4 月：京都市・乙訓地域）

清新高校の開校（令和 2 年 4 月：丹後地域）



(3) 京都市・乙訓地域高校教育制度の在り方の検討（平成 23・24 年度）

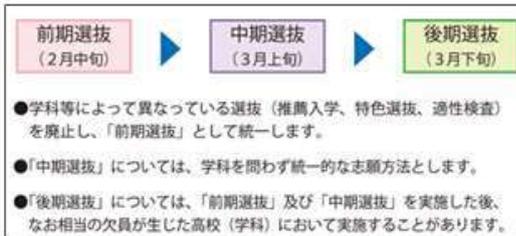
「京都市・乙訓地域公立高等学校教育制度に係る懇談会」まとめ

（平成 24 年 8 月）

- ・平成 26 年度入学生から新しい制度に移行
- ・新しい入学者選抜制度は府内全域で実施

主な変更点（ポイント）

- 全日制普通科の「類・類型制度」の廃止
⇒「普通科」の中にコースを設定 [京都市・乙訓地域]
⇒第Ⅲ類は専門的なコース(専攻)として位置づけ、別に選抜 [全域]
- 通学圏の統合 [京都市・乙訓地域]
⇒京都市北通学圏と南通学圏を 1 通学圏に統合
- 受検機会の複数確保と選抜名称の変更
- 学科等により異なる選抜・志願方法の統一
- 総合選抜制度の廃止 [京都市・乙訓地域]
⇒「単独選抜制度」の導入



(4) 職業教育の在り方の検討（平成 23 年度～）

農業教育 京都府産業教育審議会提言（平成 25 年 1 月）

工業教育 南丹高校にテクニカル工学系列を設置（平成 27 年 4 月）
工業高校学科改編（平成 30 年 4 月）

商業教育 京都すばる高校学科改編（平成 31 年 4 月）

(5) 中等教育の多様化

中高一貫教育の充実

福知山高校附属中学校開校（平成 27 年 4 月）

南陽高校附属中学校開校（平成 30 年 4 月）

(6) 生徒減少期における今後の府立高校の在り方の検討（平成 27 年度～）

ア 「生徒減少期における府立高校の在り方検討会議」の設置

<検討会議概要>

委員：学識経験者、保護者、教育関係者、企業等の方等

開催：平成27年8月～9月 計3回

ポイント：府立高校（主として口丹・中丹・丹後地域）の今後の在り方や活性化策を検討する上で押さえておくべき観点や提言等

- ①府立高校と地域との結びつき
- ②教育の質を確保していくための学校規模
- ③学校再編の考え方や通学配慮
- ④府立高校と私立高校との関係
- ⑤専門的な学びや多様な学びの場の保障

さらに検討が必要な地域毎に具体的な方向性を検討

口丹地域

口丹地域における府立高校の在り方懇話会設置

中丹地域

設置学科の改編について
校長会・各校と調整

丹後地域

丹後地域における府立高校の在り方懇話会設置

イ 「丹後地域における府立高校の在り方懇話会」の設置

- ・出席者：市町関係者、保護者、教育関係者、企業等の方等
- ・開催経過：平成 28 年 2 月～10 月 計 4 回

<丹後地域の府立高校の在り方：基本的な方針>

1 学舎制の導入

多様な教育課程を編成し、将来の地域を支える人材を育成するという高校の役割を果たすため、一定の生徒数、教職員数を維持するとともに、通学の利便性にも配慮して、現在の校舎を活用する学舎制を導入する。

〔学舎制導入校〕宮津高校と加悦谷高校、網野高校と久美浜高校

2 京都フレックス学園構想に基づく学校づくり

各分校での取組を継承しつつ、その機能を集約して教育内容の充実を図るため、現峰山高校弥栄分校の校地において、宮津高校伊根分校、峰山高校弥栄分校、網野高校間人分校の3校を統合し、個々の生徒のニーズに応じた柔軟な教育を行う京都フレックス学園構想に基づく学校づくりを行う。

3 「地域創生教育推進プログラム」の実施

将来の丹後地域を支える人材を育成するため、府北部地域の振興に参画している府内の大学や特色ある取組を行っている他府県の大学、地元市町、企業など関係機関と連携し、広く丹後地域のことを学ぶ教育活動を丹後地域の全府立高校において実施する。

4 実施時期

平成32年度（平成29年度から具体的な検討・調整等を進める。）

学舎制の導入（令和2年4月）

宮津天橋高校（宮津学舎、加悦谷学舎）の開校

丹後緑風高校（網野学舎、久美浜学舎）の開校

京都フレックス学園構想に基づく新設高校の開校（令和2年4月）

清新高校の開校

※宮津高校伊根分校、峰山高校弥栄分校、網野高校間人分校は募集停止

教育内容の充実・学科改編等

峰山高校：工業に関する学科の改編（令和元年4月）

丹後緑風高校久美浜学舎：農業に関する学科、その他専門学科設置

入学者選抜制度の見直し（令和2年度・3年度選抜）

通学区域の弾力化（普通科の学区の撤廃）

全国部活動特別入学者選抜の実施

・丹後緑風高校網野学舎 レスリング部

ウ 「口丹地域における府立高校の在り方懇話会」の設置

- ・出席者：市町関係者、保護者、教育関係者、企業等の方等
- ・開催経過：平成28年3月～平成30年1月 計2回

○「府立北桑田高等学校の在り方検討会議」の設置

平成28年12月～平成29年10月 計4回

○「府立須知高等学校の在り方検討会議」の設置

平成28年12月～平成29年10月 計4回

<口丹地域の府立高校の在り方：方向性>

今後、当面の間、少子化傾向が緩やかとなる口丹地域においては、生徒一人一人の希望進路の実現に向けた、より魅力ある高校教育を推進するため、地元地域からの支援や連携事業を充実させるなどにより、引き続き、各府立高校の魅力化をより進め、学校規模の維持に向けた取組を進めていく。

なお、口丹地域外の高校に進学を希望する生徒の状況や、平成38年度以降生じる見込みである中3年生数の大幅な減少を踏まえて、各高校の在り方については必要に応じて改めて検討を行う。

1 各府立高校の魅力化

(1) 各府立高校については、改めて中学生や地域のニーズを把握し、次期学習指導要領への対応も見据えて、必要に応じて学科改編等を行いながら、魅力化を図る。

(2) 個別検討を行った北桑田高校および須知高校については、検討会議での意見を参考にしながら、地元自治体をはじめとする関係機関と連携した魅力化に取り組む。

なお、北桑田高校美山分校については、現在果たしている役割は口丹地域において必要であり、通学条件や施設設備の状況を考慮しながら在り方を検討する。

2 選抜制度の工夫

選抜制度について、現行の学区の在り方や、府外を含め他地域からの入学者の受け入れに関する検討を行う。

3 今後のスケジュール

上記について、平成30年度に具体的な検討・調整等を進める

各校の魅力化（学科改編等）（令和2年4月）

亀岡高校：その他専門学科の改編

園部高校：その他専門学科を廃止

農芸高校：農業に関する学科の改編

入学者選抜制度の見直し（平成31年度・令和2年度選抜）

通学区域の弾力化（北桑田高校普通科の京都市・乙訓通学圏からの募集）
（普通科の学区を撤廃、府立南丹高校通学区域の拡大）

全国部活動特別入学者選抜の実施

- ・北桑田高校 自転車競技部、ワンダーフォーゲル部
- ・須知高校 ホッケー部

エ 中丹地域の府立高校

学科の改編

大江高校：総合学科を新設（普通科、商業に関する学科の廃止）

（令和2年4月）

工業高校：工業に関する学科の改編（平成30年4月）

選抜制度の工夫

通学区域の弾力化（普通科の学区の撤廃）（平成31年度選抜）